

教科266~272 イタリア・ドイツの統一

3年世界史ゼミ①

イタリアの統一 (リゾルジメント)

19C前半の動き…カルボナリの乱 (1820・1831)

マッツイーニが (青年イタリア) 結成
→ローマ共和国 (1849) →仏の介入で失敗

復習の

① (サルデーニャ) 王国の統一運動

国王カルロ=アルベルトの統一運動 (1848) →塙に敗北、失敗

国王: ヴィットーリオ=エマヌエーレ2世

首相: カヴール

- ・鉄道建設など社会基盤を整備
- ・(クリミア) 戦争に参加 (仏の歓心を買う)

→ポレオン3世と秘密同盟 (1858) … (プロヴェン) の密約

イタリア統一戦争 (1859~60)

塙を破り、(ロンバルディア) 併合

中部イタリア (パルマ・モデナ・トスカナ) を併合

仏に (ニース・サヴォイア) を譲る

→仏は塙と和解… (ウィラフランカ) 条約

② (青年イタリア) の統一運動

代表: ガリバルディ

「赤シャツ隊」を率いて、(両シリア王国) を征服→南部支配

①と②の合同

ガリバルディは南部をサルデーニャ王国へ献上

(イタリア王国) の成立 (1861)

国王はヴィットーリオ=エマヌエーレ2世

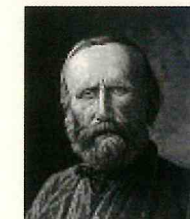
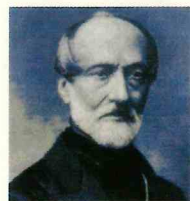
(普墺) 戦争 (1866) に参加→ (ヴェネツィア) 併合

(普仏) 戦争 (1870) に参加→ (教皇領) 併合

【問題点】 ローマ教皇と長い間、対立関係…「ヴァチカン」の囚人

(未回収のイタリア) 問題… (イストリア・トリエステ・南チロル)

南北問題…近代化の進む北部と貧しい南部の経済格差が広がる



ドイツの統一

ウィーン体制下のドイツ

ドイツ連邦… (35) 君主国と (4) 自由市

ブルシェンシャフト運動 (1817)、(ドイツ関税同盟) (1834)

1848年の革命… (フランクフルト) 国民議会→ (普・墺) の対立
(小ドイツ) 主義を採用するも、普国王に拒否される

① (プロシヤ) (普) 王国の統一運動

国王: ヴィルヘルム1世

首相: ビスマルク

①の統一が遂げ

→武力のみ達成

方針: 鉄血政策 → ユンカー中心に富国強兵、(墺・仏) を排除

1864 (デンマーク) 戦争… (シュレスヴィヒ・ホルシュタイン) 問題→領土拡大

(普墺) 戦争… (北ドイツ連邦) 成立→普が主導権を握る

塙はハンガリー王国を承認→ (マウズグラヒ) (妥協)

教科268

70 (普仏) 戦争…

スペイン王位継承問題が契機

1864に革命が起るとプロシヤ朝の王が退位 (スダン) の戦いでナポレオン3世を破る
プロシヤの王が退位したため、フランクフルト条約 (マルクス・ローヌ) を獲得

71 ドイツ帝国成立…仏の (ヴェルサイユ宮殿) 「鏡の間」で戴冠式

②ドイツ帝国の体制

(国内) ビスマルク独裁体制 (宰相が皇帝にのみ責任を負う)

- ・外見的立憲体制…二院制議会 (連邦参議院・帝国議会) →権限小さい
- ・「帝国の敵」政策

ムチ…独南部のカトリック教徒 (中央党) を弾圧 (文化闘争)

社会主義運動を弾圧→ (社会主義者鎮圧法) (1878)

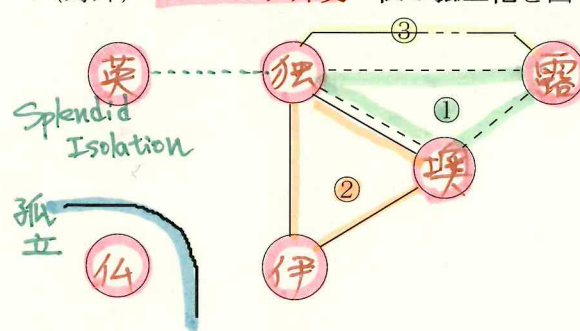
(社会主義労働者党) (1875) … (ラサール・ベーベル) らが設立

(社会民主党) (1890) に発展

アメ…社会保障制度充実 (災害保険・疾病保険・老齢保険)

・産業革命推進…軍事部門や鉄道網を整備→19C末には (英) を抜く

(対外) ビスマルク外交→仏の孤立化を図る



① 三帝同盟 (1873~78・81~87)

② 三国同盟 (1882~1915)

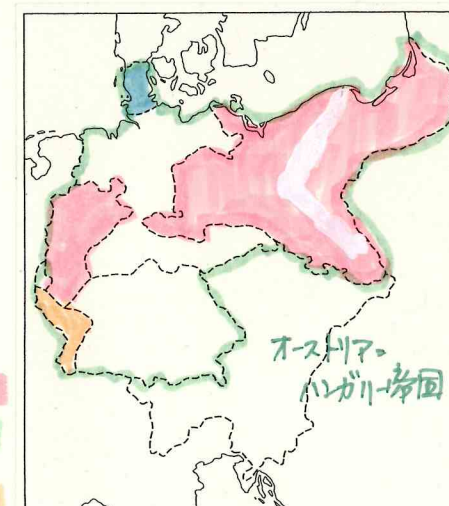
③ 再保障条約 (1887~90)

プロシヤ王国

統一ドイツ帝国

マルクス・ローヌ

シュレスヴィヒ・ホルシュタイン



ユンカー出身



オーストリア・ハンガリー帝国

地図作業

- ・サルデーニャ王国を色づけしよう
- ・ニース・サヴォイアを色づけしよう
- ・書き込もう
 - A ロンバルディア
 - B 中部イタリア
 - C ヴェネツィア
 - D 教皇領
- ・未回収のイタリアを色づけしよう
- ・ガリバルディの進路を書き込もう

